

私が考える掛川市新型コロナウイルス総合対策

1 私の新型コロナウイルス感染症に対する考え方

- (1) 新型コロナウイルス対策の第一は「感染予防」ですので、市民の皆様全員が気を緩めることなく、新しい生活様式を実践して、「感染予防」にしっかりと取り組み続けることが大切です。
- (2) いよいよ今月からワクチン接種が始まりますが、全量確保の見通しが立っていないようで、心配される状況です。接種期間が長期になることも懸念事項です。
- (3) 既に感染力の高い新型コロナウイルス変異種が3つ確認されており、静岡県でも感染者が出ていますので、変異種の感染拡大も防がなければなりません。
- (4) 暖かくなると感染者が減り、今後ワクチンの接種が進むと、新型コロナウイルスの収束を期待してしましますが、世界的な大流行ですので、時間を要すると考えておく必要があります。
- (5) 市民の皆様は生活が制限され、毎日の生活に不安を感じ、重い閉塞感の中、将来に対する心配も増大していますので、一人ひとりに寄り添う対策が急務です。
- (6) 行政機関と市民の皆様と企業が連携して、平穏な生活を取り戻し、次の感染症に備えるとともに、今の事態が収束した後の新しい社会の実現を目差して、速やかに総合対策を計画し実行に移すことが重要です。

2 総合対策の内容 スローガン：「ウイルスに負けない新しい生活の創出」

- (1) 市役所に「新型コロナウイルス総合対策課」を設置します。
- (2) 新型コロナウイルスに関することは、全てこの課が受け持ち、所管課と連携して迅速的確に対処します。政府機関の内閣府の様な役割を果たします。窓口を一本化して責任を持って対応します。
- (3) 市民と有識者の参加により、「新型コロナウイルス対策総合計画」を短期間に策定します。新型コロナウイルスは、社会の弱いところを狙うと言われていいますので、今こそ弱いところを洗い出し、これを強化する「総合対策」としなければなりません。
その要点は、次の通りです。
 - ① 感染対策の充実（今の経験を踏まえた予防、検査、ワクチン接種、治療の充実）
 - ② 経済活動を支え成長に転換する方策、国県と連携した効果的な支援策の確立
 - ③ 生活支援に複数のメニューを用意して、迅速的確に生活困窮者に応じた対応
 - ④ 感染症に強い市民生活の確立（自助、互助、共助、公助のベストミックス、新しい生活様式と感染抑止マナーの提案等）
 - ⑤ 進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革するDX（Digital Transformation デジタル・トランスフォーメーション）を推進
 - ⑥ SDGsの意欲的な取り組み、中でもコロナ危機で停滞した社会を、気候変動を抑え、生態系を守りながら立て直そうという「グリーンリカバリー」を実施
 - ⑦ 首都圏及び大都市の人口集中是正と掛川市への移住定住の新たな仕掛けづくり
- (4) すぐにでも実行できること
 - ① 市の各種委員や団体の皆様のご協力を得て、研修を終了した「新型コロナウイルス何でも相談員」を当面100人確保します。
 - ② 誰でもがリモートワークやオンライン会議に取り組める環境を整備します。
 - ③ 市役所のホームページを充実して、新型コロナウイルスに関する情報を満載にし広く深く検索できて使いやすいようにリニューアルします。
 - ④ 市役所で開設しているSNS（Twitter,facebook,LINE等）を更に効果的に活用して総合対策を推進します。

3 今年を新型コロナウイルスからの復活の年に

- (1) 掛川市では、2月14日現在120人が感染しています。
- (2) 日本の感染状況と国民の行動様式を見ると、「危機感の共有」が弱いと感じられます。市のトップが市民にしっかりと危機感を伝え続けることが必要で、共有できれば行動変容が生まれ、感染症に強い市民社会をつくることができます。
- (3) 人類の歴史はウイルスと共に歩んできたと言われていいます。地球温暖化が進むと新たな強毒のウイルスが出現する可能性が指摘されていますので、私たちは、今こそウイルスに強い社会を作り上げなければなりません。「新型コロナウイルス対策総合計画」は、百年安心して暮らせる為の初めての計画です。

（裏面もご覧ください）